

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局
Mail：sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217
HP：<http://sagamihara-koureikyo.org/>

●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●「さがみはら介護の日フェアinさがみはら」のご案内

第17回「介護の日フェアinさがみはら」を以下の通り開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 会 場：ユニコムプラザさがみはら
- 日 時：12月1日(日) 12:00～16:00
- 内 容：次世代を担う介護職員等勤続表彰式
アロマ消臭スプレー作り(先着30名)
福祉機器体験、骨密度測定、シニア疑似体験、
介護相談コーナー
『介護に笑顔はよく似合う』写真展表彰式



写真展
「介護には笑顔が良く似合う」動画



●「介護ウィーク」開催のご案内

地域を取り巻く福祉課題を検討し、地域貢献活動を推進する取組み「介護ウィーク」を、相模原市老人保健施設協会(老健協)と合同で開催します。

本年は11の事業所が参加してイベントや講演会などを催します。

開催時期：11月2日(土)～11月11日(月)(期間外開催あり)

内容やスケジュール、問合せ先等は、当会のHPをご覧ください。

実施する事業所は以下の通りです。

- 高齢協
「みたけ」「縁JOY」「相模原敬寿園」「東林間シニアクラブ」
「ボーナビール二本松ケアセンター」「古淵デイサービスセンター」
「中の郷」「東橋本ひまわりホーム」「ケアプラザさがみはら」
- 老健協
「青葉の郷」「相模原ロイヤルケアセンター」「ケアガーデンさがみ湖」



(順不同)

●大塚さゆり元副会長が衆議院議員初当選！

相模原市高齢協が公認推薦する大塚さゆり氏が神奈川県20区で衆議院議員選挙で初当選を果たしました。

大塚氏は相模原高齢協で副会長を務めた高齢者福祉のスペシャリスト。これからは福祉事業者の抱える経営課題や運営課題を国に届け、その解決に向けて大活躍してくれるでしょう。応援よろしくお祈りします。



●要望事項の市議会 各会派・政党への申し入れ

高齢協では、例年、相模原市に対して要望を提出していますが、今年度は政党を通じて市議会への働きかけも行うこととなりました。当会会長、副会長が主だった政党議員団との面談の場に赴き、要望事項を伝えました。

（共産党（7月25日）、公明党（7月30日）、自由民主党（7月31日）、立憲民主党（8月28日））

要望要旨として、①「介護報酬地域区分における給地格差の是正」②「施設大規模修繕への支援」③「人材確保のための支援」の三点に絞って、近隣自治体の実態との比較を示しながら、理解、協力を求めました。

●「合同施設長会」「懇親会」開催

7月17日、相模原市民会館にて合同施設長会が開催されました。内容は以下の通りです。

- 相模原市からの情報提供等
原油価格／物価高騰緊急対策支援事業等の案内
「お仕事相談窓口」開設について
- 「要望書」回答について
- 研修計画について
- 介護イメージアップ事業について
「介護の日フェアinさがみはら」「介護ウィーク」
- 第21回「かながわ高齢者福祉研究大会」について
- 特養 経営実態調査について
- 「特養 空床・入所待ち」「デイサービス 空き状況」
情報サイトについて
- 相模原市病院協会「高齢者救急の下り搬送事業」
について
- 業態別 部会

合同施設長会閉会后、賛助会員の皆様を交えて懇親会が開催されました。



● 「令和5年度福祉施設に関する要望書」への回答

「老人福祉施設に関する要望書」に対して回答がありました。以下が概要です。

1. 介護人材の確保・定着・育成について

- ① 介護報酬の地域区分を、隣接する地域と格差が生じないように、神奈川県市長会を通じ引き続き国等への働きかけを行いたい。
- ② 介護人材確保・定着・育成を図るため、引き続き、関係団体等と連携を図りながら、取組み強化を図りたい。また、外国人介護職員についても、市内の介護現場における課題を把握しつつ、受入れ促進及び人材定着に向けた研修などの取組みを推進したい。

2. 高齢者福祉施設の事業持続について

- ① 施設老朽化に伴う大規模修繕の支援については、国や県の補助制度を活用する旨で、補助制度の充実をしかるべく要望してゆきたい。「広域型施設の大規模修繕・耐震化整備」「介護ロボット・ICTの導入支援事業」等の制度については、より活用しやすく要件の緩和および時限措置の延長を併せて要望してゆきたい。
- ② 特養の事業継続については、短期入所生活介護の転換も含め、生産性向上等の運営支援を図るため、今後も意見交換等の場を活用するなどの取組みを行ってゆきたい。

3. 養護老人ホーム・ケアハウス事業について

- ① 養護老人ホームは、高齢者のセーフティネットの要としての意義を鑑み、入所措置の要否の基準、入所判定委員の意見を踏まえながら、個別の事案に即した支援を提供できるよう取組みを行ってゆきたい。
- ② ケアハウスの「生活費」「管理費」の運用も含め、サービス提供費補助金の単価見直しについては、国に対して、経済状況を反映させた基準改定の算定根拠の明示化を求めつつ、介護保険制度との整合性を考慮しつつ対応を検討したい。

※ 詳細は会員ページをご参照ください。（以下をクリックください）

⇒ [「高齢者福祉施設に関する要望書」](#) ⇒ [「老人福祉施設に関する要望書への回答」](#)

● 研修「相模原の高齢者福祉施設が抱える課題と問題」開催

6月28日、主として管理者向けの研修「相模原の高齢者福祉施設が抱える課題と問題」を、当会の**大久保祐次 会長**を講師に迎え、対面にて開催しました。

今回の研修は、相模原市における高齢者福祉施設が直面している課題を多角的に見直し、会員事業所運営に資する知見として共有すべく設けられました。

具体的には、●働き方の多様化の趨勢を見定めた介護人材の確保・定着、●近隣自治体との比較から捉えた相模原市の地域区分の不均衡、●相模原市の財政状況および高齢者福祉行政との兼ね合い、●「特養経営実態調査結果」から見た施設運営のあり方、●全国老協および全国社協との連携…など高齢者福祉を取り巻くさまざまな動向、地域固有の実情を踏まえて課題を炙り出し、相模原市内の高齢者福祉施設の今後の展望を見据える意義深い内容となりました。

●研修「もっと気軽に気楽にスーパービジョンを実践するために ～明日から現場で活かせる『援助者への援助』という視点～」開催

7月27日、8月31日、現任職員向けの「スーパービジョン」研修を2回にわたって開催しました。講師は山梨県立大学人間福祉学部准教授、山中達也先生と社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 矢向ケアプラザ所長、田中志乃先生。内容は以下の通り。

7月27日：「援助者のための援助について」

8月31日：「グループスーパービジョン演習」

毎年恒例の本研修会は「援助者への援助」というテーマで、自己成長と専門性の向上につながる貴重な機会となっています。

定期的にスーパービジョンを実施することで援助の質も高まり、援助者ひとりひとりのモチベーション維持へもつながります。職種に関わりなく、多くの方々に繰り返し受講いただきたいと願っています

●研修「通所介護事業所のBCP策定」開催

8月7日、主として管理者向けに「通所介護事業所のBCP策定」と題した研修を、株式会社ツクイスタッフ 寺岡純子先生を講師に迎え、オンラインで開催しました。

2021年の介護報酬改定により、本年度から、すべての介護事業所においてBCP（業務継続計画）策定義務が発生することになりました。在宅で生活する要介護、要支援高齢者へのサービス提供の維持確保は、通所介護事業所が担うべき大きな社会的使命です。また、災害や感染症など不測の事態による長期にわたる事業の停止や縮小は事業所の経営にも大きな影響をもたらすことも確かです。

以上を踏まえ、今回の研修では、通所介護事業所におけるBCP策定のための重要なポイントを具体的に学びました。

●研修「介護事業会計に関する研修『半期決算を読み解く』」開催

10月31日、「介護事業会計に関する研修『半期決算を読み解く』」と題した研修を、コンパツソ税理士法人横浜青葉事務所 村山健太先生を講師に迎え、オンラインで開催しました。

介護サービス事業にかかわる社会福祉法人には、介護保険制度特有の会計業務を踏まえた、「透明性」かつ「安定性・継続性」を確保した経営が求められています。そのためには、役員や管理者・経理担当者だけでなく、チームリーダー等の職員をも含めて「福祉サービス」と会計とをリンクして経営にかかわり「現場」からの事業改善の提案、経営参画ができるようになることが望まれます。

今回の講座では、その初歩として社会福祉法人会計基準の財務諸表を読み解き、法人・事業所の現状を把握するための基礎的な知識を学びました。

【2025年問題と2040年問題】

2025年問題と2040年問題は、日本の人口構造の変化に伴う社会問題の総称で、それぞれ次のような特徴があります。

2025年問題：超高齢化社会を迎えることで生じる問題の総称で、団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になることで医療介護の社会保障費の急増や介護人材不足などが顕在化します。

2040年問題：高齢者の人口がピークを迎えることで起こり得る問題の総称で、1970年代前半生まれの「団塊ジュニア」世代が高齢者となることで、労働力不足や社会保障制度の崩壊、医療・福祉サービスが受けにくくなるなどの問題が生じます。

また、高齢者率の上昇に伴い医療・介護費の増大が見込まれる中、生産年齢人口の減少により納税者が減少し、社会保障制度への負担は増加することが懸念されています。

● 「空床・入所待ち情報」および「デイサービス空き状況情報」サイトのご案内

当協議会ではホームページ上に市内特養各事業所の「空床・入所待ち情報」および「デイサービス空き情報」を案内するサイトを設けました。

これは、それぞれの情報を一般公開することによって（一般市民、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、行政機関等向け）、市内特養、デイサービス事業所の利便性を訴え市民のニーズに応えるとともに、空床期間、空き状況を短縮する等、事業所経営の効率化を図ることを主眼としたものです。

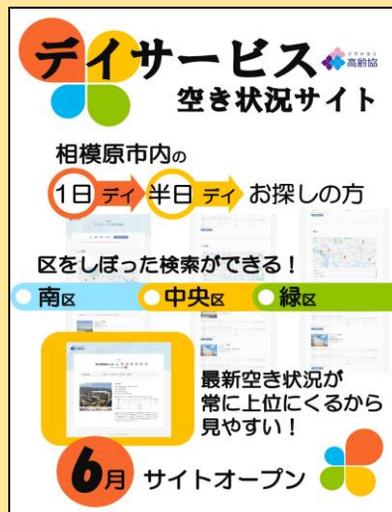
空床・入所待ち状況、空き状況や対応できるサービス（条件）等の情報を事業所ごとに表示するほか事業所のPR欄もあります。（各事業所のホームページへのリンクもできるようになっております）。



特別養護老人ホーム
「空床・入所待ち情報」
案内サイト



「デイサービス空き情報」
案内サイト



福祉職場で働く方のメンタルヘルス相談

職場での悩み、新型コロナウイルス感染症によるストレスなど幅広く相談できます。お気軽にお申込みください。

- ★ ご利用できる方：相模原市内の福祉事業所で働く方
- ★ 相談できること：仕事、家庭、将来に関すること
- ★ 相談料：無料
- ★ 相談方法：対面相談・電話相談・オンライン相談
- ★ 相談時間：1回あたり45分程度

ご相談は、臨床心理士等のカウンセラーが対応します。

【お問合せ】（福）相模原市社会福祉協議会 総務課 企画財政係

☎ 042-730-3888

✉ soumu@sagamiharashishakyo.or.jp



● 賛助会員紹介

株式会社 三ノ輪建設 一級建築士事務所



夢・豊かさ・安心をかたちにつくる
株式会社 三ノ輪建設

弊社は1954年設立し、今年70周年を迎えました。『夢・豊かさ・安心をかたちにつくる』をスローガンに掲げ、町田・相模原を中心として新築・改築・大規模修繕を手掛け地元密着の総合建設業として成長して参りました。またグループ会社として分譲・仲介・賃貸管理運営を担う株式会社ミノワホームと共創・共働により建設後も長きにわたりお客様の資産を大切にお守りし育てていく事をお約束させて頂いております。

【お問合せ】株式会社 三ノ輪建設
一級建築士事務所

代表取締役 萩原 謙

☎ 042-722-5155 ✉ info@minowa-co.jp

URL <https://minowa-co.jp/>

【賛助会員】

株式会社 コンティ
守屋綜合法律事務所
株式会社 三ノ輪建設
株式会社 ケイ・アース
株式会社 中島建設
住宅型有料老人ホーム 勢水
住宅型有料老人ホーム あんず
株式会社 永田屋
日本ゼネラルフード 株式会社
株式会社 IDO
ケアミックス 株式会社
株式会社 シマソービ
リンデンB・I 町田・相模原
株式会社 伊藤典範
株式会社 アースアンドウォーター
Career-Now
株式会社 ユニヴァ・ジャパン
株式会社 トレセレ
一般社団法人 アンターミナル
一般財団法人 北里環境科学センター
国際商事 株式会社

株式会社 ウェブトラスト
Office CPSR (臨床心理士・
社会保険労務士事務所)
山岸誠 (個人)
アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
日興テクノス 株式会社
株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部
株式会社 ナリコマエンタープライズ
エス・エスホームケア 株式会社
株式会社 リンク・アップ
神奈川県ロイヤル 株式会社
公益財団法人 相模原市勤労者福祉サービスセンター
株式会社 キージェネレーション
株式会社 アルプス技研
株式会社 ヴィレッジ
株式会社 Z-Works
株式会社 オリバー
ハッピーライフコーポレーション 株式会社
一般財団法人 日本介護福祉施設健診協会
敬称略/加入順

● 編集後記

広報紙第42号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。ご意見、情報などご遠慮なくお寄せください。

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)
TEL : 042-707-1136 FAX : 042-707-1217
Mail : Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

